

キーワード



ミニ肝臓

肝臓

線維化

ヒト肝臓

In vitro



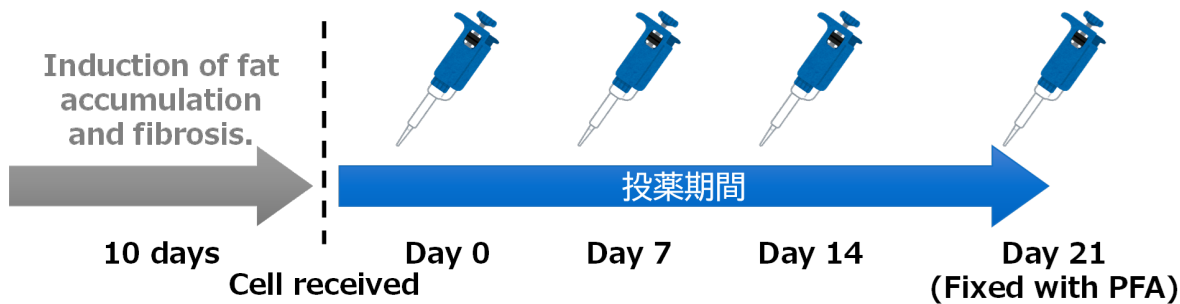
公式サイト

ヒト3Dミニ肝臓Diseaseモデル

ヒト3Dミニ肝臓Diseaseモデル（株式会社サイフーズ）を用いた薬効評価のご紹介です。
 高脂血症治療薬であるBezafibrateは当該モデルで有効性を示しました。

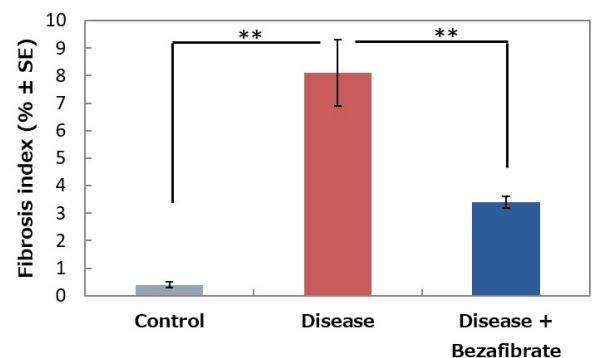
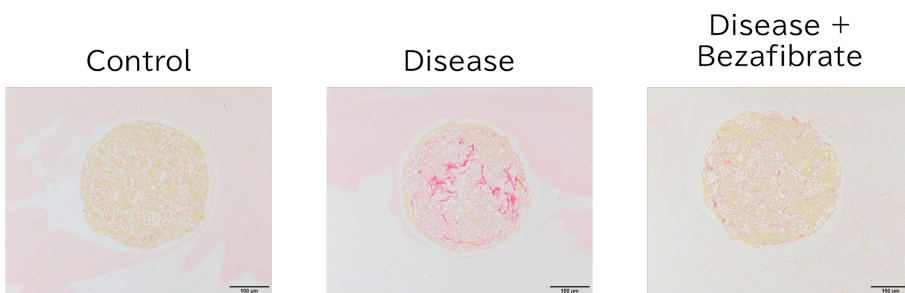
試験方法（例）

線維化誘導後10日の細胞を入手した翌日（Day0）から培地交換を実施し、培地交換と同時に Bezafibrateを10 μ M添加した



評価（例）①

評価項目：スフェロイドの線維化面積（ピクロシウスレッド染色）



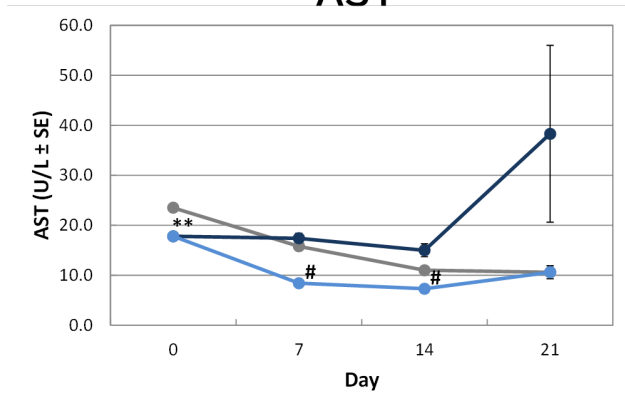
**：p<0.01, vs control

評価 (例) ②

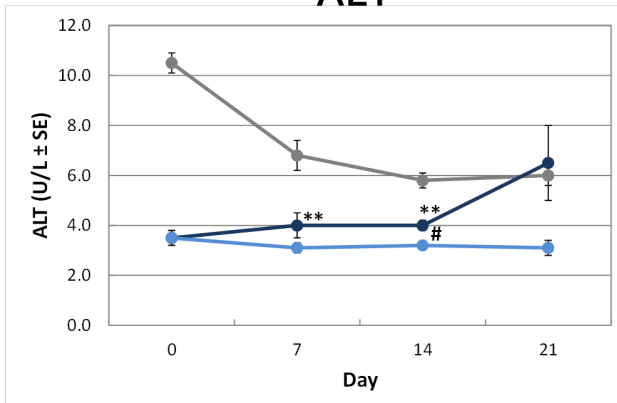
評価項目：培地中のAST、ALT、TG（自動生化学分析装置）

培地中のAST、ALT、TGの推移

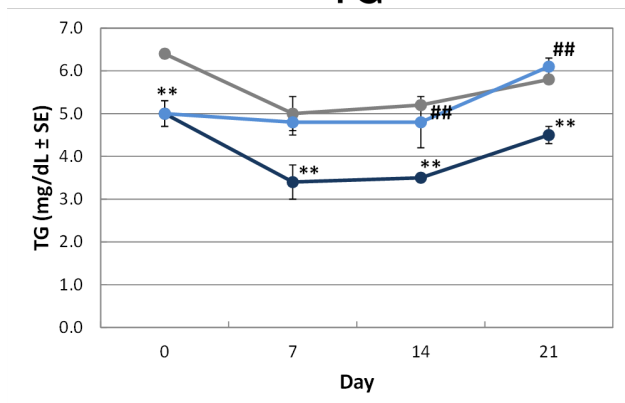
AST



ALT



TG



- Control
- Disease
- Disease + Bezafibrate

** : p < 0.01, vs control

: p < 0.01, # : p < 0.05 vs Disease

結果

DiseaseモデルはControlと比較して、
 有意な線維化領域の上昇が認められた。
 Bezafibrateの投与により、線維化進行の抑制傾向が示唆された。